

どんぐり村の こみ・すく通信

令和7年12月22日発行 令和7年度 第20号

更別村コミュニティスクール委員会事務局(教育委員会)

「認知症・福祉」の学習

年末を控えた12月17日(水)に、更別中央中1年生が、保健福祉課保健師の藤田さん、社会福祉士の佐々木さん、社会福祉協議会の小丹枝さんをお迎えして、「認知症サポーター養成講座」及び「福祉の授業」を受けました。生徒は、講話と動画や寸劇を通じて、認知症は脳の病気であり、周りの人のサポートで安心して生活できることを学びました。



後半は、3つのグループに分かれて、交代しながら、高齢者体験・障がい者(片麻痺)体験・車椅子体験を行い、当事者の立場になってその人の気持ちを理解することの大切さを学びました。



おひさまの会 からのプレゼント

同じく12月17日(水)に、更別小学校で、「おひさまの会」によるクリスマスに関する絵本の読み聞かせとハンドベルの演奏が行われました。当日は、更別幼稚園とどんぐり



保育園の園児も訪れ、小学生といっしょに楽しみました。

絵本にはサンタクロースが登場し、ハンドベルではクリスマスソングが演奏され、子どもたちはクリスマス気分を大いに味わっていました。ハンドベルでの「アンパンマンのマーチ」演奏時には、子どもたちも歌詞を口ずさみながら、聴き入っていました。22日(月)には、上更別小学校でも同じく行われました。



みんなの学校応援団の活動を紹介<その15>

小6と更農高との食育授業

更別農業高校生活科学科の2、3年生が先生役となって、12月10日(水)に、村内2校の小学校6年生に、フードロス削減をテーマにした食育の授業をしてくださいました。授業は、高校生が2グループに分かれて、2校のそれぞれの校舎に出向いて行われました。



更別小

授業では、高校生がクイズを出題する等して、フードロス問題を分かりやすく説明してくださいました。

調理実習では、更農高で収穫した金時豆を使った「金時豆酢」を材料に加えての「マヨネーズ」、さらに、「ポテトサラダ」と「じ



ゃがいものガレット」の計3種を作りました。小学生は、作業をする高校生の巧みな手さばきや的確なアドバイスに、納得の表情を浮かべていました。

授業後の更農高生に感想を聞くと、「小学生を教える楽しかった。いっしょに学んだと思う」と話してくださいました。



上更別小